

こんなところにとらぶるの芽 (No.15)

～ちょっと気になる消費生活情報をお届けします～



リチウムイオン電池からの発火にご注意

モバイルバッテリー(携帯充電器)、スマートフォン、タブレット、電子たばこ、ノートパソコンなどに幅広く使用されているリチウムイオン電池。充電中や使用中などに発火する事故が増えています。リチウムイオン電池を使った製品の取扱いに注意しましょう。

リチウムイオン電池の特徴

リチウムイオン電池は、小型で大量の電力を必要とする製品に使用されています。一般的に蓄電池として使用されているニッケルカドミウム電池、ニッケル水素電池などと比べて小型で大容量、数百回の繰り返し使用が可能、保管時の減りが少ないなどの特徴があります。

事件事例

- 使用していたノートパソコンから発火し、製品と周辺を焼損する火災が発生した。
- モバイルバッテリーを充電しながら就寝していたところ、製品と周辺を焼損する火災が発生した。
- ズボンのポケットに入れていたスマートフォンが発熱・発火し、火傷を負う事故が発生した。

リチウムイオン電池を使用した製品は、ここに気を付けよう

■衝撃を与えない

リチウムイオン電池に外部から衝撃が加わり、へこむなどすると内部ショートを起こし、発煙や発火につながるおそれがあります。

(例) スマートフォンなどをズボンの後ろポケットに入れたまま座るなどして、強い外力を与える。

■可燃物の側に置かない

特に就寝中は事故に気付きにくいいため、充電する場合は枕元や寝具の側で充電せず、周囲に燃えやすい物がないところで充電しましょう。

■次のような異常が生じるおそれがある扱いは避ける

- ◇ 車のダッシュボードの上など、高温となる場所に放置する。
- ◇ 水没させる、水が掛かる。
- ◇ ペットがかみつく、だ液が付着する。

次のような場合は、使用を中止し、販売店や製造・輸入事業者の修理窓口に相談を！

- ◇ 充電しても、満充電にならない。
- ◇ 充電中に以前よりも熱くなる。
- ◇ 充電中にパチパチという異音がする。
- ◇ 充電中に異臭がする。
- ◇ 外装が膨張し、変形している。バッテリーパックが膨張している。
- ◇ 落としたり、ぶつけるなどで強い衝撃を与え、一部が変形している。
- ◇ 不意に電源が切れる。

※ 上記のような兆候が現れない場合でも火災に至るケースもありますので、衝撃を与えたり、異常が生じるおそれがある扱いは避け、取扱説明書をよく読んだ上で使用しましょう。



リコール対象製品か確認しましょう

当該製品が事業者により回収・修理などを行うリコール対象製品になっていないか、「事業者名」＋「リコール」などでウェブ検索するか、以下のウェブサイトで時々確認しましょう。リコール対象製品の場合は、不具合が生じていなくても使用を中止し、販売店や製造・輸入事業者に連絡しましょう。

○経済産業省製品安全ガイド：リコール情報

http://www.meti.go.jp/product_safety/recall/denki_5.html

○消費者庁リコール情報サイト <http://www.recall.go.jp/>

参考情報

【製品評価技術基盤機構(NITE)】

急増!ノートパソコン、モバイルバッテリー、スマホの事故 ～リコール製品や誤った使い方に注意しましょう～ (平成 29 年 7 月 27 日)

<https://www.nite.go.jp/data/000086042.pdf>

【東京消防庁】

リチウムイオン電池からの火災にご注意を! (平成 28 年 12 月 22 日)

<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-kouhouka/pdf/281222.pdf>